データ行列の作成

#### データ行列とは

- IMAGEREVEAL MSではデータ処理の前に、まずデータファイルから必要な情報を切り出します。
  - これが"データ行列"です。
  - この理由は、MSイメージングのデータファイルが大きいことが多く、直接ファイルを操作すると時間がかかるためです。
- 切り出し方は"データ行列の設定"で決めます。
  - MSピークの種類や幅です。
- データ行列の保存場所はSSDをおすすめします。HDDよりかなり処理速度が速くなるからです。

#### 処理するピークの選び方

Non-target: m/z 範囲全体

特定の*m/z*値

"データ行列の設定"から設定

Peak picking:

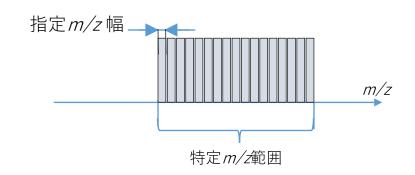
Target:

mass スペクトルからピークを抽出 🛶 "ピークピッキング"から設定



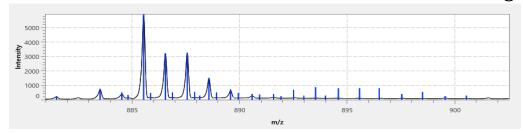
#### Non-target

特定のm/z範囲を、指定したm/z幅で分割



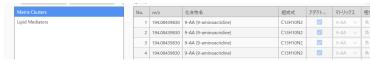
#### Peak picking

測定したスペクトルに基づいたtarget

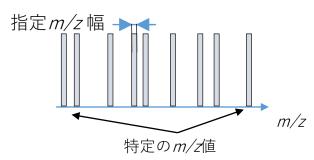


#### **Target**

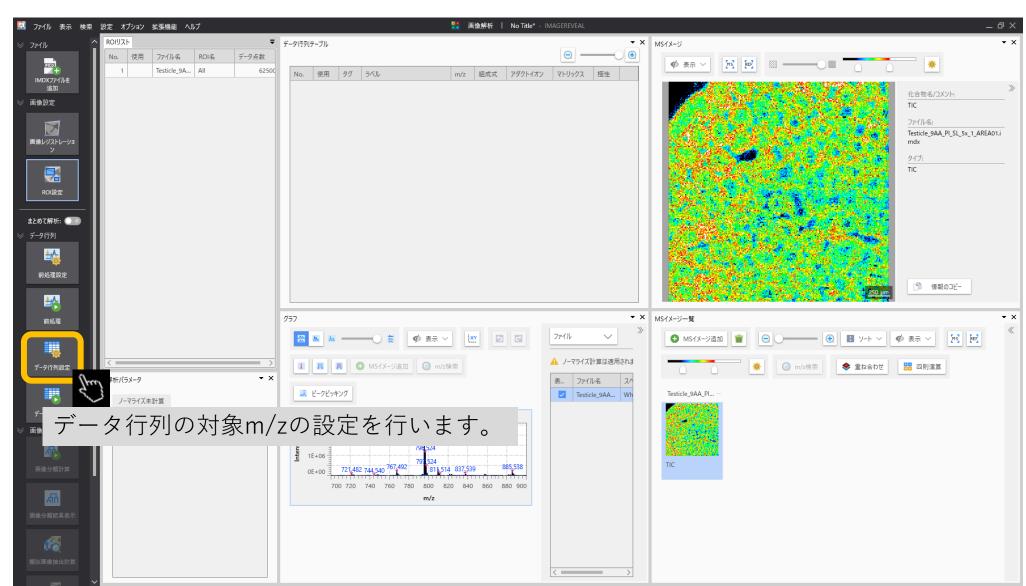
化合物の表



特定のm/z値を、指定したm/z幅で切り取る



# データ行列の設定(target, non-target)



#### データ行列の設定 (target, non-targetの選択)



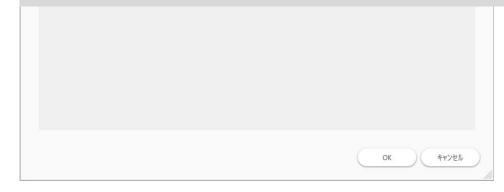
ターゲットは特定のm/z値と許容幅を指定します。 "リストの作成"を押すと"化合物テンプレート"か らリストを作成できます。



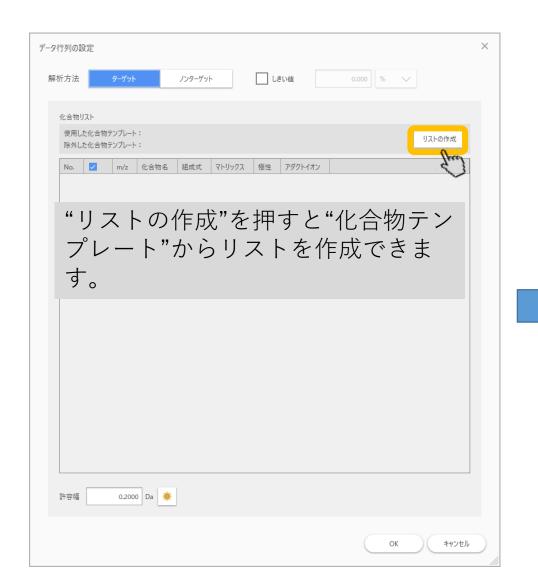


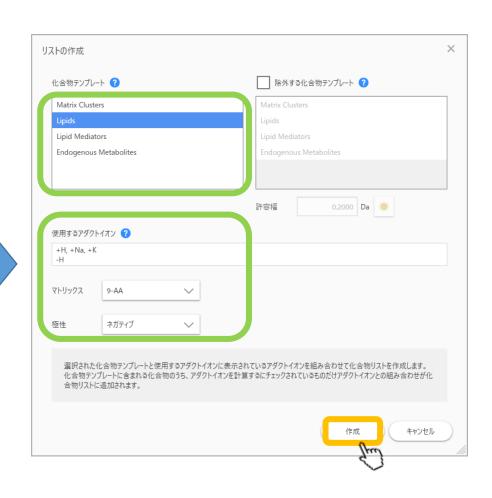
ノンターゲットはスペクトルから一定のm/z幅で信号強度を切り出します。

m/z 範囲 と ビンサイズ (m/zの幅)を指定します。

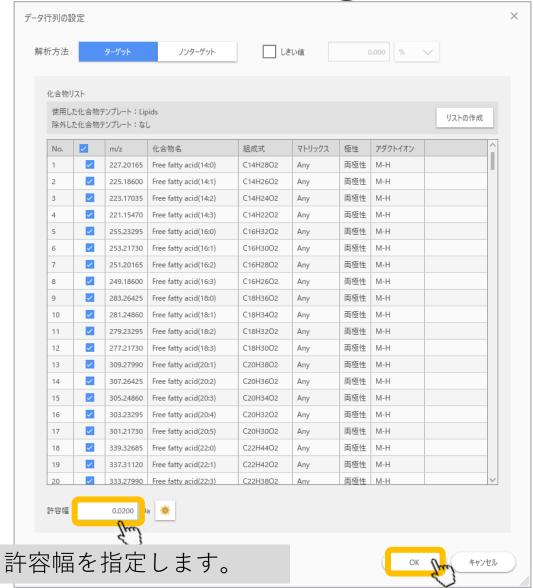


### データ行列の設定 (targetの場合)

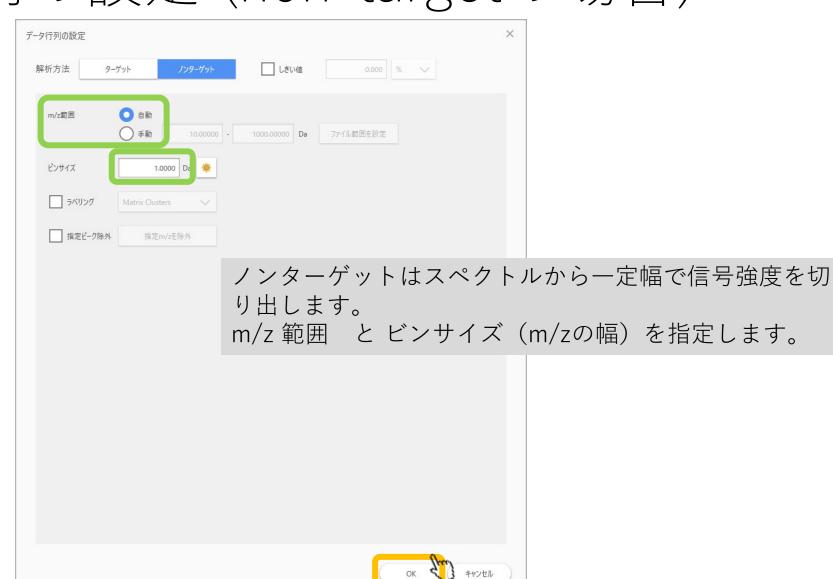




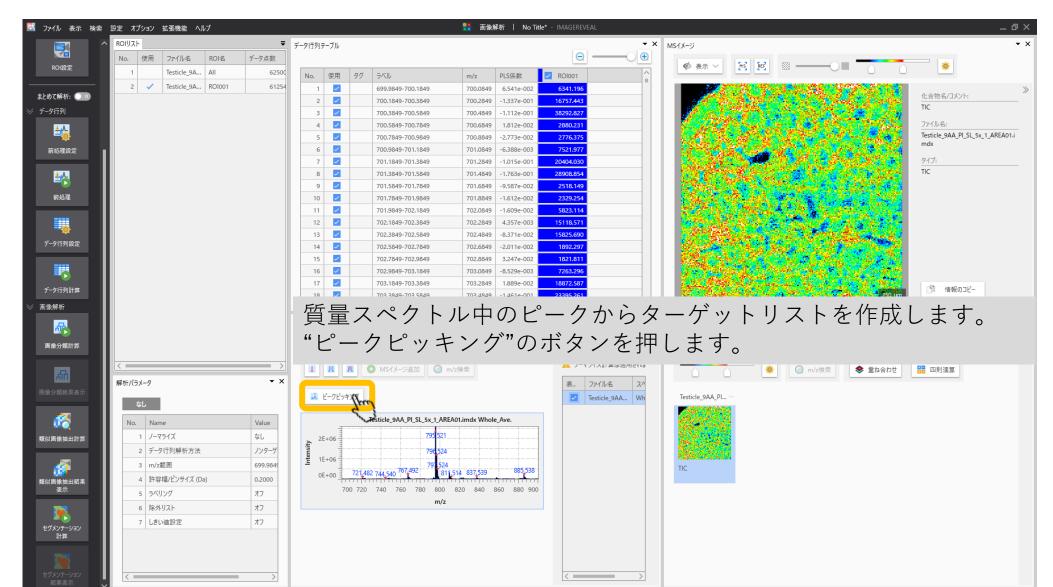
# データ行列の設定 (targetの場合)



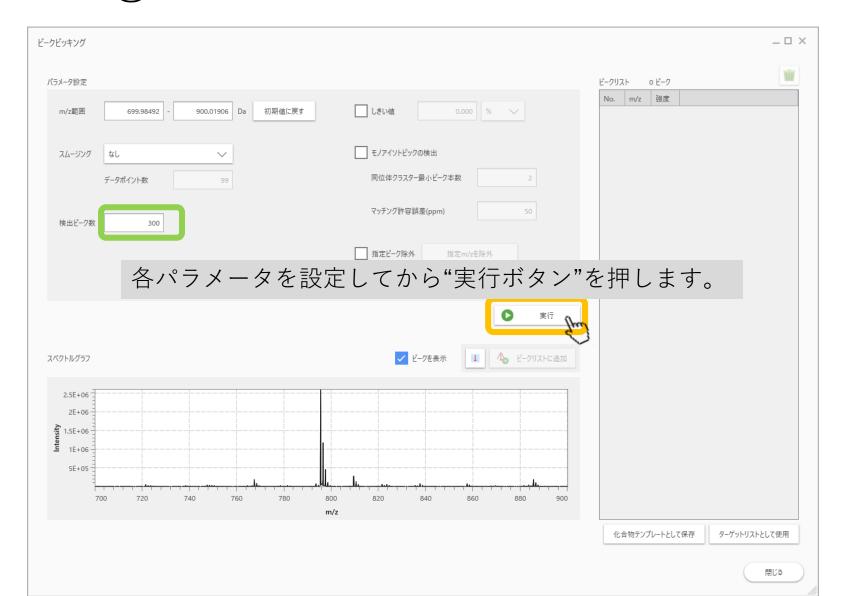
# データ行列の設定 (non-targetの場合)



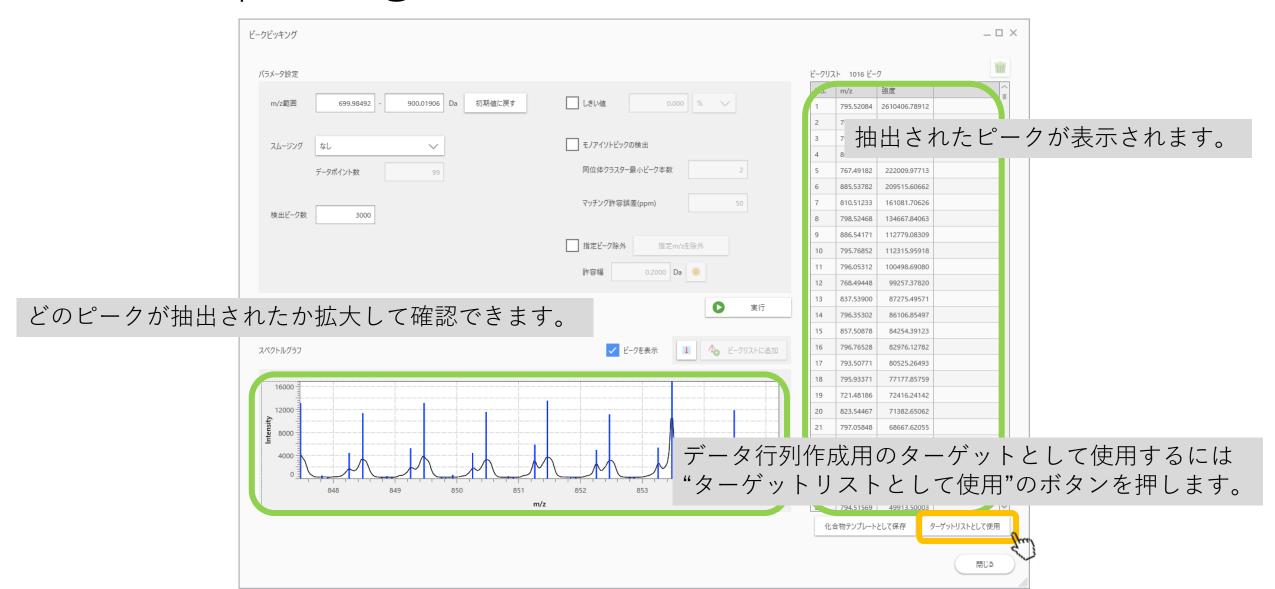
#### Peak pickingからターゲットリスト作成方法



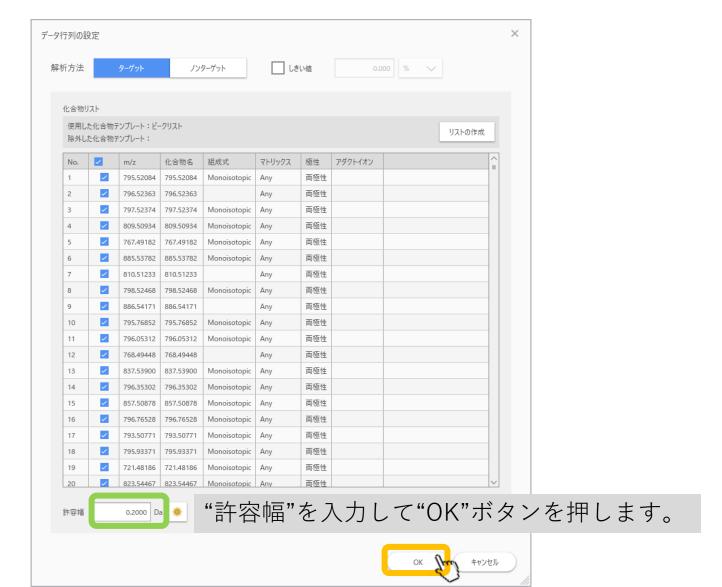
#### Peak pickingからターゲットリスト作成方法



#### Peak pickingからターゲットリスト作成



#### Peak pickingからターゲットリスト作成



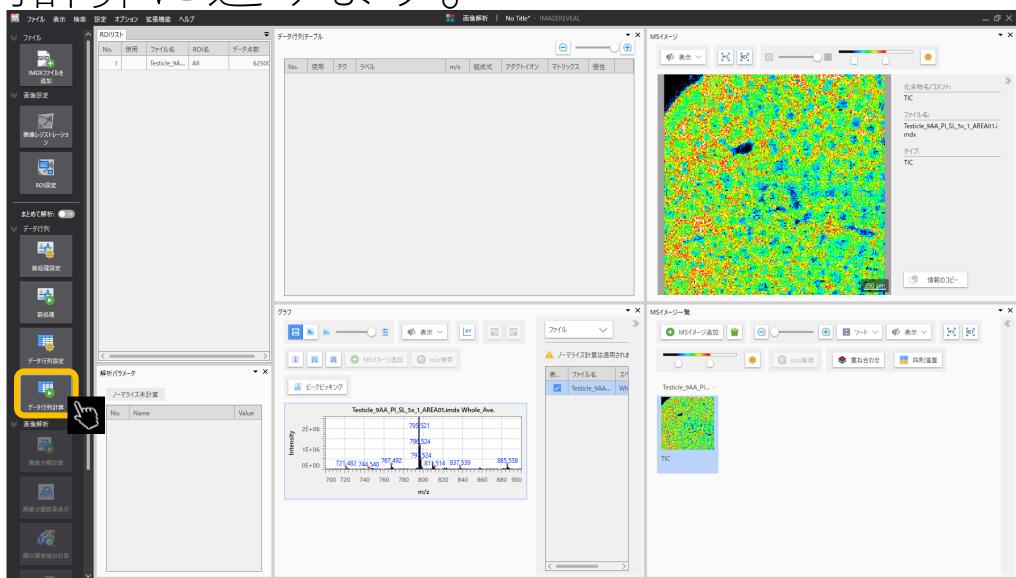
#### Peak pickingからターゲットリスト作成

#### m/z 幅が重なる場合

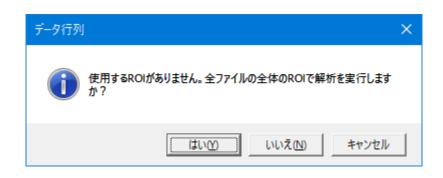


許容幅によっては、近接したピークのm/z 幅が重なる場合があります。 その場合は警告が出ます。

重なっても問題ない場合は"OK"ボタンを押してください。 問題がある場合は"キャンセル"を押して、許容幅を設定し直してください。 データ行列の設定が完了したらデータ行列計算に進みます。

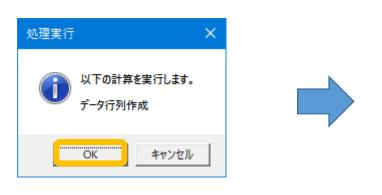


# ROIの設定がない場合は、確認ダイアログが表示されます。



測定範囲全体を対象に処理を行う場合は"はい"を押します。

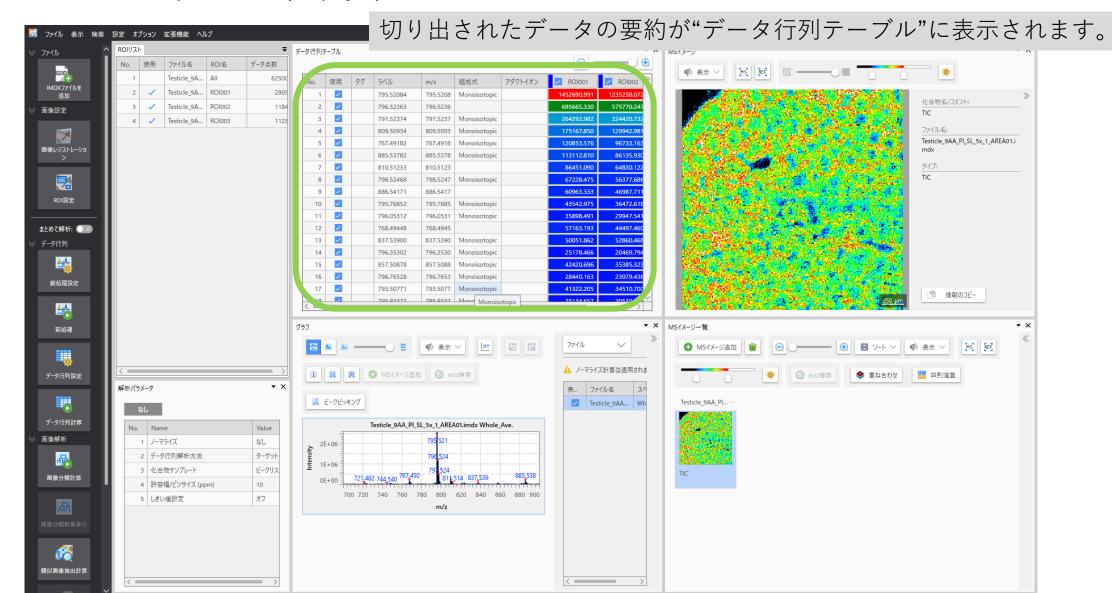
#### データ行列作成の計算の確認ダイアログ が表示されます





"OK"を押すと計算が始まります。

#### データ行列計算完了



#### データ行列のエクスポート

